

Press release

日本発  
アナログ  
合体家電

# 大ラジオセ展



photo:HARUMI OBAMA

<http://dairadicasseten.haction.co.jp/>

■■■■■■■■■本件に関するお問い合わせ■■■■■■■■■

●(株)パルコ メディアコミュニケーション部 江尻 eji-yuko@parco.jp

Tel:03-3477-5713 Fax:03-5489-7481

●ハクシオン (株) 沼田 numata@haction.co.jp 岩根 iwane@haction.co.jp

Tel:03-5459-5402 Fax:03-5459-5403

★画像をご用意しております。お手数ですが掲載前に校正をお送りいただきますようお願いいたします。

## 企画趣旨

---

# 大ラジカセ展

ノスタルジーだけじゃない新しさ。ラジカセとそのカルチャーを楽しむ展覧会。

「ラジカセ」。

その重くて大きな箱にはアナログの魅力がぎっしり詰まっています。

日本生まれの「ラジカセ」が日本だけでなく海外で普及した背景には、ファッションのトレンドも大きく影響しています。

80'Sファッションにあわせたポップで女性向けのコンパクトなデザインのラジカセが日本では登場し、ニューヨークではビッグスケールの「ラジカセ」は、ファッションの一部としてヒップホップの象徴となりました。ポータブルでより個に近い家電の「ラジカセ」だからこそライフスタイルやファッションを反映し、そのデザインも多様になったと言われています。

場所も世代もボーダーレスな家電「ラジカセ」の持つデザインの多様性とそこから生まれたカルチャーを、日本随一のラジカセ・家電蒐集家 松崎順一氏がナビゲート。カセットテープ、レコード盤とともにアナログ回帰の盛り上がりを見せている今、ノスタルジーだけではなく新たなアクセスツールとして注目されているラジカセ。

また日本ではじめてカセットテープが発売されて 50 年を迎え、ラジカセとあわせてカセットテープの人気も再燃しています。

若い世代には新鮮で、バブル世代には共感と体験の共有となるラジカセ。

本展では「ラジカセ」のデザインを紹介するだけでなく、カセットテープ、ラジオの魅力そしてその背景にあるカルチャーもあわせて紹介したいと考えます。

## 企画概要

■タイトル：日本発 アナログ合体家電

# 大ラジカセ展

■会期：2016年12月9日（金）～12月27日（火）

10:00～21:00(最終日は18:00 閉場/入場受付は閉場の30分前まで)

■会場：パルコミュージアム（池袋パルコ 本館7F）

東京都豊島区南池袋1-28-2 <http://www.parco-art.com>

■お問い合わせ：03-5391-8686

■入場料：一般500円 学生400円（税込）小学生以下無料

■主催：パルコ

■協力：TBSラジオ/ニッポン放送/文化放送/J-WAVE/TOKYO FM

■監修：松崎順一（デザインアンダーグラウンド主宰）

■グラフィック監修：COCHAE

■企画制作：ハクシオン

### <本展の見どころ>

#### ★「物（プロダクト）」としてのラジカセの魅力紹介

松崎工場長（松崎順一さんの事務所はファクトリー、松崎さんは敬意を表して工場長と呼ばれている）の5000点にも及ぶラジカセコレクションから選りすぐりのラジカセ100点以上を展示紹介！

#### ★ラジカセから派生した「文化（カルチャー）」を紹介

音楽、深夜放送、アートなどラジカセの普及とともに進化したカルチャーを紹介。

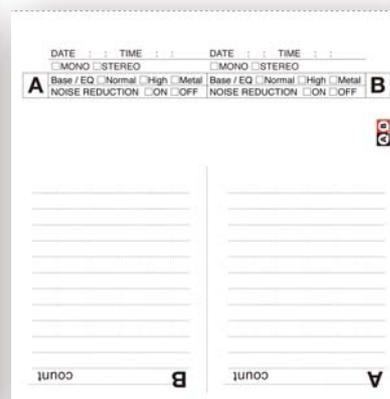
◎特別寄稿「清水ミチコさんのラジカセとラジオのお話」

#### ★ラジカセを体験してみよう！ラジオの魅力も再発見！

ラジカセを触って、カセットのもつ独特のあたたかい音を試聴できる体験展示。

ラジオの魅力も再発見する展示も。

★フライヤーには「切り取って使える  
カセットインデックス」のふろく付！



## 展示内容

### ラジカセ 100 台から究極のデザインと機能の暴走を楽しむ

メイドインジャパンのプライドが詰まった究極の合体家電「ラジカセ」はデザインと性能により世界中に広まりました。本展では日本随一の家電蒐集家、松崎順一さんの 5000 点にもおよぶラジカセコレクションから 100 台超をセレクトし展示紹介します。美しいデザインのラジカセをはじめ、テレビやキーボードなどプラス発想の暴走のような多機能ラジカセ、hiphop の象徴となった巨大なラジカセなどシンパシーを感じずにはられないラジカセが 100 台以上登場します。



左：世界初のラジカセ AIWA TPR101 右：ラテカセの代名詞 SONY JACKAL300  
「ラジカセのデザイン増補改訂版」(立東舎)より

### 「大ラジカセ展」でモノを愛で大切にすることを再発見

音楽や書籍がデジタルコンテンツに移行していく中、アナログ回帰を楽しむ世代が増え始めています。モノとしての「カセット」のはかなさを所有することや、「ラジカセ」のごつカワイさを楽しんでもらえればと思います。本展はかつて誰かが愛用していたラジカセを展示しています。使った人の思いが伝わる 100 台のラジカセと約 500 本のカセットテープは時代の空気も記録しています。会場では実際にカセットの音とラジカセを触れることができる展示もあります。



### ラジカセから派生するカルチャーを知る

#### 【カセットマガジン】

カセットテープがついた雑誌。新しい音楽や表現をカセットテープで発信していた。フジカセットテープのノベルティとして話題になった YMO のカセットマガジン「テクノポリス」他も展示。

本展では 1980 年代のアート&ミュージックマガジンとして伝説のカセットマガジ「TRA」の全てを特別公開！



「TRA SPECIAL 4」(安齋肇氏 責任編集の特別版の「TRA」)  
©TRA PROJECT 展示協力：ミック・イタヤ

## 【HIPHOP とビッグスケールラジカセ】

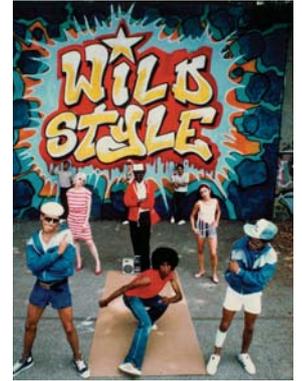
チャーリー・エーハン監督による映画「Wild Style」は 1983 年に公開された史上初のヒップ・ホップムービー。この作品によりヒップホップというカルチャーを世にしらしめた金字塔的な映画です。写真にあるように映画に登場しているのは日本製のラジカセ。その後発売されたヒップホップ MC たちのアルバムには日本製のラジカセが多く登場し made in Japan の Boombox=

ラジカセがヒップホップの象徴になりました。

ビッグスケールラジカセとともにレコードジャケット等も展示。

映画「Wild style」のトレーラーも公開！

映画「Wild Style」  
展示協力：アップリンク  
(C) New York Beat Films LLC



## カセットアート「カセットは語る」

本展ではクリエイターによるカセットコレクションおよびカセットアートを紹介します。中学生の頃から撮り溜めたカセット愛を語るみうらじゅん氏の映像、高校時代に師匠ビートたけしさんの ANN を録音した大切なカセットコレクションを展示する水道橋博士氏ほか、それぞれのアプローチでカセットテープの魅力を紹介し

ます。松崎工場長セレクトのカセットラベルのデザインも登場します。



左：自身のマスターテープを前に語るみうらじゅんさん  
右：貴重なラジカセとテープコレクションを公開の水道橋博士さん

### ■参加クリエイター

安齋肇、伊藤桂司、小町渉、水道橋博士、スージー甘金、ステレオテニス、テリー・ジョンソン、常盤響、永井博、西寺郷太 (NONA REEVES)、みうらじゅん、ミック・イタヤ、三戸なつめ、峯田和伸 (銀杏 BOYZ)、本秀康、リッキー、和田ラヂヲ (敬称略・五十音順)



伊藤桂司×小町渉「コラボレーションカセット」  
©KEIJI ITO & WATARU KOMACHI

## ラジオ+カセット＝「ラジカセ」体験

カセットテープで新譜をリリースするアーティストが増えている。そのサウンドの魅力を体験する展示。

デジタル音源とは違うカセットの音を体験して欲しい。

また最近ではラジオの魅力が見直されている。本展では各局の伝説の番組の一部が聴けるコーナーが登場！また、タイムテーブルなど貴重なアイテムを展示。なりきり DJ フォトスポットコーナーなど。

# 大ラジカセ展ショップ

ヴィンテージラジカセや、ミュージックテープ、TOKYO CULTUART by BEAMS、diskunion の雑貨などが揃う期間限定のショップがオープン。(商品例)



展覧会オリジナル・カセットメモ 540 円



展覧会オリジナル・クリアファイル各 324 円



ILA.STENCIL SERVICE クッション各 8,424 円



ラジカセのデザイン! DVD 3,218 円  
ユニバーサル ミュージック

本展だけの特別価格!



ラジカセのデザイン! 増補改訂版 1,944 円  
立東舎



ラジカセ for フューチャー 2,484 円  
誠文堂新光社

## 中目黒のカセット専門店「waltz」ワルツ

カセット愛のつまったこだわりのお店「waltz」のミュージックテープとオリジナルトートバッグも登場します。



カセットテープ専門店「WALTZ」の店内

★本展監修 松崎順一氏プロデュースのラジカセの予約販売! (予定)

★その他ナタリーストアによる展覧会を記念したスペシャルなアイテムを発売予定。

\*価格は全て税込です。商品、展示内容は変更になる場合がございます。

## 監修者プロフィール

---

監修 松崎順一 Junichi Matsuzaki



デザインアンダーグラウンド主宰・家電蒐集家・Retrofitter。

幼少期より「秋葉少年」としてラジオの製作・電子工作・アマチュア無線などを趣味に家電と親しむ。

2003年に「デザインアンダーグラウンド」設立。現代のプロダクツが失った物が過去にあるとの認識で、レトロフィッターとして日々廃棄された家電を発掘し、日本のみならず世界へ古い家電を蒐集し廻り現代に蘇らせている。

現在、主としてラジカセをベースとしてアナログ作品を通して未来の家電のあり方を提案している。

パスザバトン表参道店で現代をアナログ録音して未来に残す「松崎順一展 TOKYO SAMPLING」の開催、「エルメス」、「コンランショップ」他におけるディスプレイ協力、NHKドラマ『メイド イン ジャパン』、朝の連続ドラマ『とと姉ちゃん』ほか多数の番組の家電に関する監修に携わる。

現在、自身がプロデュースするラジカセブランド『MY WAY』（2017年1月発売予定）を皮切りに、新しい家電を発信している。